

知ってる？

活用してる？

学校図書館！

今回は、学校図書館の機能と役割ごとに、主に年度末から年度初めを中心とした活用例を紹介します。





活動の目標

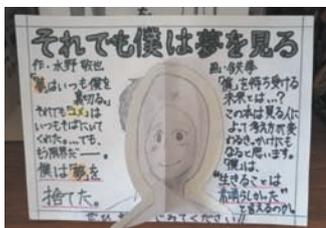
- ・本と出合う楽しさを味わう。
- ・子どもと教職員が投票に参加することで、学校図書館への関心を高める。
- ・図書委員（局員）が学校図書館に関わることへの意欲を高める。

図書委員会（図書局）

「POP コンテスト」

活動例

- 1 図書委員（局員）による POP 作成の学習会を開く。
- 2 図書委員（局員）が、自分が紹介したい本を決め、POP を作成する。
- 3 図書館だよりや校内放送等で、全校に POP コンテストを知らせ、投票を呼び掛ける。
- 4 学校図書館内や校内の掲示板に POP を掲示し投票箱を設置する。
- 5 投票の多かった POP に賞を設けるとともに、作成した POP を学校図書館にて活用する。



MEMO

- ・POPの作成は、国語の授業や全校での自由応募とすることも考えられます。
- ・学校図書館長（学校長）賞を設けるなどの工夫ができます。



活動の目標

- ・本を探す体験を通して、本の分類や配架の仕組みを理解する。
- ・本や図書館に関する基礎的な知識を身に付け、必要な本を探したり、活用したりする。

小学校3年生 国語、特別活動

「図書館たんていだん」

活動例（学校図書館内で実施）

- 1 図書館の本は、内容ごとに番号で分けて並べられていることや、本には基本的なつくりがあることを学習する。（国語3年上 教科書 P30 参照）
- 2 本を手に取り、ラベルに記載されている分類番号等を確認する。
- 3 テーマに沿って図書館の本を調べる。
例①「詩の本」「スポーツの本」などが、どの棚にあるか予想して確認する。
例② 0～9の分類番号ごとに、1冊ずつおもしろそうな本を探す。
- 4 学校図書館の配架が分かる地図をつくり、活用する。

MEMO

- ・学校図書館ボランティアや開放司書、開放ボランティアの方々に、説明や本を探す補助指導をしてもらうなど、学校図書館に関わる方々との交流を組み合わせることも考えられます。
- ・国語のほか、特別活動の学級活動(3)ウの内容として取り組むこともできます。（札幌市教育課程編成の手引 小学校編 特別活動3年-16 ページ参照）

「朝読セットのクラス貸出」

読書センター

活動の目標

- ・学校図書館の蔵書に関心をもち、読書への意欲を高める。
- ・学校図書館の利用に興味をもつ。



活動例

- ・各クラス10冊程度を1セットとして箱に入れて準備する。
 - ・1か月ごとに他のクラスに回して交換する。
 - ・図書委員など担当者を決め、定期的に本の所在を確認する。
- ※子どもが手に取りたくなる本という観点で選書する。
※日本十進分類法の0～9類をなるべく1冊ずつ選書する。





活動の目標

- ・中学校の学校図書館を利用する際のルールやマナーを知り、本の分類や配架の仕組みを理解する。
- ・学校司書と交流することで、今後の学校図書館の活用に意欲をもつ。

中学校 1 年生 国語、総合的な学習の時間、特別活動 「図書館オリエンテーション」

活動例（学校図書館内で実施）

- 1 小学校での学校図書館の利用や公共図書館の利用経験などを交流する。
- 2 学校図書館の利用方法や、本による情報の調べ方を学習する。
 - ・日本十進分類法（NDC）
 - ・目次や索引、奥付 等
- 3 レポート等にまとめる際に気を付けることを学習する。
 - ・引用や出典、著作権 等
- 4 クイズ形式で日本十進分類法を基に本を探し、中学校の学校図書館の配架の仕組みを理解する。
- 5 好きな本を探し、1冊借りるとともに、本の返却日を確かめる。

MEMO

- ・学校司書に、学校図書館のルールやマナーの確認や説明、クイズの準備、本探しの補助指導をしてもらうなど、子どもと学校司書が積極的に交流できるようにすると、今後の主体的な学びにつながります。
- ・校内放送や動画視聴によるオリエンテーションも考えられます。その際の説明資料の作成については、図書委員会等の子どもが作成した資料を活用することも考えられます。



活動の目標

- ・興味をもったことについて、学校図書館の資料を活用してより深く調べる。
- ・学習の成果を学校図書館や図書館だより等で紹介し共有することで、学習したことについての理解を深める。

中学校 3 年生 総合的な学習の時間 「SDGs で課題探究」

活動例（学校図書館内で実施）

- 1 SDGs（持続可能な開発目標）とは何か、SDGs が目指す社会について学習する。
- 2 「17の目標」から特に自分が興味をもち、より深く調べたい到達目標を選び、理由を考える。
- 3 選んだ目標について、知っていることや他の教科で学習した内容を発表する。
- 4 学校図書館やインターネットで情報を集める。
 - ※学校司書からSDGsに関する本やインターネットでの情報収集に関するポイントを学習する。
- 5 選んだ目標を達成するために、自分にできる取組を考える。
- 6 調べたり考えたりした内容を整理し、レポートやプレゼンテーション資料としてまとめる。

MEMO

- ・事前に、関係図書を新規購入したり、寄託図書を手配したりするなど、図書資料を充実しておくことが重要です。
- ・時期を合わせてテーマに沿った企画展示を行うと効果的です。
- ・レポートやプレゼンテーション資料をまとめる際には、学校司書や担当教諭から、引用や参考文献の記載の仕方について指導します。
- ・他にも「職業」「防災」「旅行的行事の訪問地について」などのテーマにおいて調べ学習をする際に、学校図書館を活用できます。



こんな学校図書館が子どもの学ぶ意欲を高めます！



移動図書館

子どもが、より気軽に本を手にとることができるように、廊下や玄関前などに本を展示することが考えられます。学校行事や授業内容、季節に合わせて選書して展示するなど、多くの学校において実践されています。学校図書館以外の場所に設置することで、教職員の興味・関心を高めることにもつながります。選書を図書委員（局員）等の子どもが行うと、読書活動への意識が一層高まります。



学校の取組とのコラボレーション

「健やかな体」育成プログラムの「食育」に関する取組として、家庭科、栄養教諭、図書館担当者が連携し、廊下の掲示板を活用して情報発信した事例です。給食カレンダーを拡大して掲示し、ピックアップしたメニューに関する情報や学校図書館の本を紹介したり、「偉人の好物」等の企画展示をしたりして、子どもの食に関する興味・関心を高めています。年間を通してコラボレーション企画を行うことで、子どもの学ぶ意欲が高まります。

図書修理について

■北海道立図書館

図書修理の研修動画を掲載しています。

【掲載先】北海道立図書館 > 子どもの読書情報 >

ウェブ研修のご案内

【作成】NPO 法人修理製本北海道

<https://www.library.pref.hokkaido.jp/doc/prtl/shienka/newpage1.html>



選書の参考情報について

■学校図書館情報センター

毎月「優良選定図書」を掲載しています。

<http://www.sl-infocenter.sapporo-c.ed.jp/>
(校務支援機からアクセス可能)

■北海道学校図書館協会・札幌市学校図書館協議会

「毎月の本、夏・冬休みにおすすめする本」を掲載しています。

<http://sla.gr.jp/~hokkaido-sla/about/monthbook.html>



今回は、主に年度末から年度初めを中心とした学校図書館の活用例を紹介しました。お読みいただき、子どもの発達の段階に応じて各学校における取組の参考にしてください。

司書教諭や学校司書、図書館担当の皆様は、学校図書館に関わる方々と協力しながら学校図書館の運営業務を行い、チームで魅力ある学校図書館にしていきたいと思います。次年度もリーフレットにて学校図書館の活用について役立つ情報を発信していきます。

